

## 予算改革の基本戦略（案）

### 1. 基本方針

予算編成プロセスを見直すとともに、中長期の財政戦略を導入する。

予算の無駄を省き財政規律を高めるためには、予算を極大化し使い切ろうとするプレーヤーのインセンティブを変えると同時に、予算編成プロセスそのものを省力化・効率化する必要がある。エネルギーを予算の獲得から予算をどう使うかに振り向けるためである。また、中長期の財政戦略を早急に導入し、国民や市場の政府に対する信頼を高める必要がある。

### 2. 改革の三原則

(1) 「官僚・予党主導」から「内閣主導」へ

内閣が、財政戦略に基づき、予算の総額をコントロールしながら、トップダウンで戦略的な資源配分を行う。

(2) 「予算の極大化・使い切り」から「より少ない予算で最大の効果（VFM）」を

省庁は、内閣が決定した予算の枠（中期財政フレーム）の中で、内閣が掲げる政策目的の実現のために努力する。また、その結果を評価する。

(3) 「知らしむべからず（情報秘匿）」から「透明性の向上」へ

納税者の視点に立って、予算・財政情報を公開し、政府のアカウンタビリティと信頼性を高める。

### 3. 工程表

改革のスケジュールを記した工程表『予算近代化プログラム』（別添）を作成し、実行する。

※政府部門（霞が関）の構造改革のためには、上記の予算制度・予算編成プロセス改革に併せて、次の2つの改革が必要。セクショナリズムを是正し、内閣主導を実現するためである。

①公務員制度改革→幹部を競争原理に基づき内閣一元管理

②組織改革→省庁設置法廃止、審議会の恒常的設置廃止